セットアップガイド

DVR-UN24GS

この度は、「DVR-UN24GS」を購入頂き誠にありがとうございます。本製品をご利用頂ける前に、必ずこの「セットアップガイド」をお読みください。ご使用の前に「注意」をよくお読みいただき、正しくお使い頂く為、大切にしまっておいてください。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

I-O DATA

B-MANU201142-01

動作環境の確認

対応機種※1	USB 2.0ポート※2を搭載したDOS/Vマシン
対応OS※3	Windows Vista®（32bit）/ Windows XP SP2以降 / Windows 2000 Professional SP4以降※4
搭載CPU※3	Pentium 4 1.6GHz以上
メモリ	512MB以上
ハードディスク※5	空き容量：10GB以上（20GB以上推奨）
ディスプレイ※6	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット	インターネット接続環境が必要な場合があります。※7
対応メディア※8	●DVD：DVD-R※9、DVD+RW、DVD-R※10、DVD+RW、DVD-RAM※11、DVD-ROM ●C D：CD-R、CD-RW、CD-ROM

	メディア	メディアの速度	メーカー名
推奨メディア※12	1層DVD+R	16倍速（最大24倍速書き込み※14）	太陽誘電
		16倍速（最大20倍速書き込み※14）	三菱化学
		16倍速（最大18倍速書き込み※14）	ソニー
		8倍速	太陽誘電、三菱化学
	2層DVD+R	8倍速	三菱化学
		2.4倍速（最大4倍速書き込み※14）	日立マクセル、三菱化学
	DVD+RW	8倍速	リコー
		4倍速	三菱化学
	1層DVD-R	16倍速（最大24倍速書き込み※14）	太陽誘電
		16倍速（最大20倍速書き込み※14）	三菱化学
		16倍速（最大18倍速書き込み※14）	ソニー、日立マクセル
		8倍速（最大12倍速書き込み※14）	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	2層DVD-R	8倍速	太陽誘電、三菱化学
		4倍速（最大6倍速書き込み※14）	三菱化学
	DVD-RW	6倍速	日本ビクター、三菱化学
		4倍速	日本ビクター、三菱化学
	DVD-RAM	12倍速	日立マクセル
		5倍速	パナソニック、日立マクセル
		3倍速	パナソニック、日立マクセル
	CD-R	太陽誘電、三菱化学	
	CD-RW	三菱化学	

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン（PIO）にてご案内致します。 http://www.iodata.jp/pio/

※2 ●パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0端子で、利用のOSに対応したドライバーがインストールされていることが必要です。（Microsoft社製 USB 2.0ドライバ（補足）機器USB 2.0インターフェイスには対応しておりません。）
●DVD24倍速書き込み時には、Intel P4S/G45、AMD 780G以上のチップセットを搭載したパソコンが必要です。

※3 DVDメディアへ12倍速以上で書き込みをおこなう場合の推奨環境は以下の通りです。
●搭載 CPU：Pentium 4 2.8GHz以上
●OS：Windows XP ServicePack 2以降
●チップセット：i915以降

※4 添付のDVDオーサリングソフトDVDプレーヤーソフトはWindows 2000には対応しておりません。

※5 Serial ATA または Ultra ATA/66 以上（DMA転送モード）で接続

※6 Windows Vista®およびWindows XP 環境でCPRM 技術で録画された DVD メディアをデジタル出力で再生する場合は、以下を満たしている必要があります。
●グラフィックアクセラレータボード
・PCI-Express 接続
・最新のドライバーがインストールされていること
・HDCPに対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載
●ディスプレイ
・HDCPに対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載

※7 ●DVD MovieWriterおよびWinDVDインストール時のソフトウェア有効化手続きが必要
●CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合

※8 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●DVD・CDへの書き込み各行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※9 2 層 DVD+R メディアにてルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※10 2 層 DVD-R メディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※11 カートリッジから取り出した不織なメディア（TYPE I）および2.60倍速のメディアには対応しておりません。

※12 推奨メディアは外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みができないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
●メディアメーカーの生産の都合上、入手困難となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※13 2 倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※14 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境においてメディアの倍速を超える高速で書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速で書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

ご注意

- ●DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応ゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。
- ●DVD/CDの読み込み中にモード切替スイッチを切り替えた場合には、動作が不安定になる場合があります。このような場合には一旦メディアを出し、再度挿入してください。
- ●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの設質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。Windows Vista®でご利用の際にはより高性能な環境を推奨いたします。
- ●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- ●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

製品仕様

ドライブ名	ソニーオプティアーク株式会社「AD-7240S」
インターフェイス仕様	USB 2.0
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2MB

最大書き込み/読み込み速度※1		書き込み方法											
		書き込みエラー回避機能							搭載				
DVD	1層+R	2層+R	1層+RW	1層-R	2層-R	1層-RW	1層RAM	2層RAM
	最大24倍	×24※2	×8	×8	×24※2	×8	×6	×12	-	-
	最大20倍	×16	×12	×13	×16	×12	×13	×12	×16	×12
CD	-R	-RW								
	最大48倍	×32	-							
	最大40倍	×40	×24							

※1 サイレントモード時の最大読み込み速度は以下のとおりです。
●DVD：5倍速 ●CD：10倍速

※2 USB転送速度をユーティリティ（マツハシUSBをBD/DVDが無効の場合には最大18倍速となります。

適合フォーマット	●DVD：DVD-ROM、DVD-Video ●C D：CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2（form1、form2）、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD
平均アクセスタイム	●DVD-RAM：210ms ●DVD-ROM：160ms ●CD-ROM ：140ms
書き込み方法	●DVD-RAM：Random and Sequential ●DVD+R/+R DL/+RW：Random、Sequential and Multi-Session ●DVD-R/-R DL/-RW：Disc at Once、Incremental、and Multi-Border、Restricted overwrite（DVD-RW only） ●CD-R/-RW：Disc at Once、Track at Once、Session at Once Variable size Packets and Fixed size Packets
電源仕様	DC +5V±5%、+12V±10%
定格電流	5V：2.0A、12V：2.0A
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露をきこと）
外形寸法	170(W)×240(D)×50(H)mm（フロントベゼル含まず）
質量	約1.4kg（本体のみ）

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン（PIO）にてご案内致します。 http://www.iodata.jp/pio/

※2 ●パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0端子で、利用のOSに対応したドライバーがインストールされていることが必要です。（Microsoft社製 USB 2.0ドライバ（補足）機器USB 2.0インターフェイスには対応しておりません。）
●DVD24倍速書き込み時には、Intel P4S/G45、AMD 780G以上のチップセットを搭載したパソコンが必要です。

※3 DVDメディアへ12倍速以上で書き込みをおこなう場合の推奨環境は以下の通りです。
●搭載 CPU：Pentium 4 2.8GHz以上
●OS：Windows XP ServicePack 2以降
●チップセット：i915以降

※4 添付のDVDオーサリングソフトDVDプレーヤーソフトはWindows 2000には対応しておりません。

※5 Serial ATA または Ultra ATA/66 以上（DMA転送モード）で接続

※6 Windows Vista®およびWindows XP 環境でCPRM 技術で録画された DVD メディアをデジタル出力で再生する場合は、以下を満たしている必要があります。
●グラフィックアクセラレータボード
・PCI-Express 接続
・最新のドライバーがインストールされていること
・HDCPに対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載
●ディスプレイ
・HDCPに対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載

※7 ●DVD MovieWriterおよびWinDVDインストール時のソフトウェア有効化手続きが必要
●CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合

※8 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●DVD・CDへの書き込み各行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※9 2 層 DVD+R メディアにてルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※10 2 層 DVD-R メディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※11 カートリッジから取り出した不織なメディア（TYPE I）および2.60倍速のメディアには対応しておりません。

※12 推奨メディアは外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みができないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
●メディアメーカーの生産の都合上、入手困難となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※13 2 倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※14 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境においてメディアの倍速を超える高速で書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速で書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

ご注意

- ●DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応ゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。
- ●DVD/CDの読み込み中にモード切替スイッチを切り替えた場合には、動作が不安定になる場合があります。このような場合には一旦メディアを出し、再度挿入してください。
- ●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの設質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。Windows Vista®でご利用の際にはより高性能な環境を推奨いたします。
- ●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- ●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

1.準備しよう

内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ（1台）

シリアル番号(S/N)をメモします

定格：DC5V　2.0A　型番：DVR-UN24GS
DC12V　2.0A　S/N：A0A00000000XX
⚠ 指定されたACアダプタ以外は使用しないでください。
注意
I-O DATA DEVICE, INC.

シリアル番号(S/N)は本製品底面に印字してある12桁の英数字です。(例：A0A00000000XX)

▼シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。
■ユーザー登録 ➡ http://www.iodata.jp/regist/
■ファームウェア等のダウンロード ➡ http://www.iodata.jp/lib/

□ ACアダプター（1個）

□ USBケーブル(1本)

□ ゴム足(4個)

□ ハードウェア保証書(1枚)

✓ セットアップガイド(本書/1枚)

□ DVD Proツールズコレクション(DVD-ROM/1枚)

□ Ulead DVD MovieWriter アクティベーション・CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合には必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称

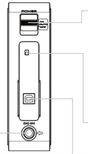
ドライブ前面

イジェクトボタン
押すとトレイが開きます。

アクセス/Powerランプ
ノーマルモード時：緑色に点灯します。
サイレントモード時：濃いオレンジ色に点灯します。
アクセス時：オレンジ色に点灯します。

緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

ドライブ背面



電源スイッチ
電源を下のように切り替えます。
ON：パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO：パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。(電源連動機能(右記参照))
OFF：パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

モード切替スイッチ
モードを下のように切り替えます。
NORMAL【ノーマルモード】
書き込み時や高速でのデータ読み込み時に設定します。
SILENT【サイレントモード】
読み込み速度を下げることにより、ドライブの回転音が静かになります。
※DVDビデオ/音楽CD**再生時のみ**お使いいただけます。
※メディア挿入中にモード切替をおこなう場合は、モード切替後、一旦メディアを排出してください。

USBコネクター
添付のUSBケーブルを接続します。

電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。

⚠ 注意
- ●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
- ●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- ●本製品はクラスレーザー製品です。レーザー光線による視力障害の原因となることがありますので、絶対に本製品を分解したり、修理、改造しないでください。

●縦置きにする場合

1. 本製品の底面に添付のゴム足を4個取り付けます。
2. イジェクトボタンが上になるように立てます。

⚠ 注意 縦置き時、8cmメディアは使用できません。

●横置きにする場合

1. 本製品の横面に添付のゴム足を4個取り付けます。
2. イジェクトボタンが右になるように置きます。

電源連動機能とは

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が「AUTO」の状態の時のみ有効です。この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。
※電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

2.使ってみよう

本製品をパソコンに接続します

※セットアップを行う場合にはWindowsを管理者権限でログオンしてください。

1. 本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。
2. 添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。
3. モード切替スイッチを［NORMAL］または［SILENT］にします。

DVD/CDへの書き込みを行う場合は必ず［NORMAL］モードに設定してください。

4. 本製品の電源スイッチを［ON］または［AUTO］にします。
5. パソコンのUSBポートにつなぎます
本製品はOSに標準で搭載されているドライバーを使用するため、ドライバーをインストールする必要はありません。
6. Windowsを起動し、［マイコンピュータ］(または［コンピュータ］)を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

機種によりUSBポートの位置は異なります。

ご注意 本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

ご注意
- ●ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。
- ●ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。（例：Windows XPでカスのDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。）

アイコンの追加を確認

↑（画面例：Windows XP、メディア未挿入、FドライブとしてE認識している場合）

アイコンが追加されていない場合

- ●［表示］メニューの［最新の情報に変更］をクリックしてみてください。
- ●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き挿ししてください。）
- ●添付のDVD-ROMに収録されているQ&Aをご覧ください。

本製品をパソコンから取り外す

ここではパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。(画面例：Windows XP)

1. 画面右下にあるタスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。
2. 本製品の表示をクリックします。
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判断してください。(画面例：Eドライブの場合)
3. メッセージを確認します。
(Windows XP以外の場合は［OK］をクリックします。)
4. パソコンから本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
※電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。
（Windows Vistaではパソコンからも USBケーブルを抜くまで、電源は切れません。）
※ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクター本体を持って抜いてください。

「取り外しできない」という内容のメッセージが表示された場合

- ●［表示］メニューの［最新の情報に変更］をクリックしてみてください。
- ●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き挿ししてください。）
- ●添付のDVD-ROMに収録されているQ&Aをご覧ください。

参考：用途に応じて添付ソフトウェアをインストールしよう

用途に応じて

添付ソフトウェアを選択します

DVDビデオを作りたい

DVDオーサリングソフト
既存の映像ファイルやDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。
※Windows 2000非対応

DVDを再生したい

DVD再生ソフト
市販のDVDや作成したDVDビデオ、または非販売DVDレーダーで録画されたDVD-R/RW、DVD-RAMを再生することができます。
※Windows 2000非対応

データDVD/CDを作りたい

「Nero 8 Essentials Writing Solution」をインストールすると以下の全てのユーティリティがインストールされます。
※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトなどがインストールされている場合は、本ソフトウェアをインストールする前にまずアンインストールしてください。
※「InCD Essentials」をインストールする場合は、必ず下記のインストール手順に従ってください。

Nero StartSmart Essentials	ランチャー	用途を選ぶだけでデータライティングソフト「Nero Express Essentials」を自動的に起動します。
Nero Express Essentials	データライティングソフト	データディスクや音楽CDなどを、このソフトウェアで簡単に作成することが出来ます。
InCD Essentials	パケットライトソフト	DVD±R/RW/CD-R/RWにドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。

シリアル番号
WinDVD　：
Nero 8 Essentials Writing Solution　：

Quick Drive Control Utility I-O DATA	ドライブコントロールユーティリティソフト	パソコンシャットダウン時にメディアの取り出しをれを防ぐドライブコントロールユーティリティソフトです。（本ソフトは製品版QuickDriveの機能限定版です。）
マツハシUSB for BD/DVD I-O DATA	USB転送最適化ユーティリティ	USBのデータ転送を効率化することでドライブの最大書き込み/読み込み速度でお楽しいただくことが出来るようになるユーティリティソフトです。
EasySaver LE I-O DATA	データバックアップソフト	あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。（本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。）
画面で見るマニュアル for DVR-UN24GS I-O DATA	マニュアル	本製品の「基本操作」や「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて

添付ソフトウェアをインストールしてください

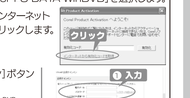
※収録されているソフトをお使いの場合には、Windowsを管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

1. 添付のDVD-ROMを本製品に挿入します。
※ Windows Vista®でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［許可］をクリックしてください。
2. メニューが表示されたら［外付モデル］→［インストールする］をクリックします。
3. インストールしたいソフトをクリックします。
⇒画面の指示に従ってインストールします。
（DVD Movie Writer 5 SE for I-O DATA WinDVD、Nero 8 Essentials WritingSolutionをインストールする場合は、手順 4 以降参照）
※インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面にお進みください。

●「DVD Movie Writer 5 SE for I-O DATA WinDVD」の場合
※DVD MovieWriterおよびWinDVDをインストールするには、ソフトウェアの有効化手続きが必要です。有効化手続きの際にはインターネット接続環境及びユーザー登録が必要です。コールの社にhttp://www.iodata.jp/lib/cgi-bin/voxcount.cgiからカウント登録を行ってください。

4 -1 ［DVD Movie Writer 5 SE for I-O DATA WinDVD］を選択します。

4 -2 以下の画面が表示されたら［インターネットから有効化コードを取得］をクリックします。



4 -3 必要な情報を入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。
※I-O DATA認証IDは製品に添付のUlead DVD Movie Writer アクティベーション・CPRM キーダウンロードのご案内」をご確認ください。
※コールし社にてユーザー登録を行っていない場合は、［アカウントを作る］をクリックし、アカウントを作成してください。必要な情報を入力し、［送信］ボタンをクリックします。

4 -4 約1分後に有効化コードが表示されます。表示された有効化コードを入力し、［有効化］ボタンをクリックします。
※ご使用のパソコン環境によりお有効化コードの表示まで1分以上時間を要する場合があります。
※次回インストールする際には同じ有効化コードを用いますので、お控めにしておください。

4 -5 画面の指示に従ってインストールします。

●「Nero 8 Essentials Writing Solution」の場合

4 -1 ［Nero 8 Essentials Writing Solution］をクリックします。

4 -2 ［次へ］をクリックします。

4 -3 エンドユーザー使用許諾条項をよくお読みいただき、同意する場合は［ライセンス許諾・・・］にチェックをつけ、［次へ］をクリックします。

4 -4 任意の［ユーザー名］［組織］を入力し、［次へ］をクリックします。※シリアル番号は自動的に入力されます。

4 -5 ［カスタム］を選択し、［次へ］をクリックします。
（「InCD Essentials」のインストールが不要な場合は、［通常］を選択し、インストールすることも可能です。）

4 -6 ［日本語］を選択し、［次へ］をクリックします。

4 -7 ［InCD Essentials］横の［▼］→［この機能と一連の関連・・・］→［次へ］の順にクリックします。

4 -8 画面の指示に従ってインストールします。

てっトリ早く DVDを使ってみよう

てっトリ早く DVDビデオをつくろう

1 動画ファイルを準備します。
- TVキャプチャ
- VHSビデオテープ
- DVカメラ etc.

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャ機器・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

2 [DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]を起動します。
[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA] アイコンを ダブルクリック

3 [ビデオディスク]→[新規プロジェクト]の順にクリックします。
①ビデオディスクを クリック ②新規プロジェクトを クリック

4 [DVD]を選択し、[OK]をクリックします。
①[DVD]を 選択 ②[OK]を クリック

5 [メディアの追加]枠の中から[ビデオファイルの追加] をクリックします。
クリック

6 ビデオに書き込みたいファイルを選択します。
①ファイルを 選択 ②[開く]を クリック ③サムネイルが追加されている 確認 ④[次へ]をクリック

てっトリ早く
デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップしてサムネイルリストに動画ファイルを追加することもできます。
ドラッグ&ドロップ

7 この場面では必要に応じてメニュー画面の設定を変更することができます。

8 本製品にメディアを入れます。

9 [書き込み開始]をクリックします。
[書き込み開始]を クリック

完成!

メニュー画面の編集もかんたん!

- あらかじめ用意されているテンプレートやオリジナルのデザインを選びお好みのメニュー画面を作成できます。
- BGMやレイアウトなど、メニュー画面の編集をおこなうことができます。
- メニューからムービーへの画面切替効果（トランジション）を設定することができます。
- クリックでメニュー画面のタイトルを変更できます。
- クリックでシーンのタイトルを変更できます。
- クリックでプレビュー画面が表示され、動作チェックすることができます。

●詳しい使い方は[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]のヘルプをご参照ください。

困った時には…
添付DVD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
コーレル・テクニカルサポート
045-226-1966
受付時間：10:00～12:30/13:30～17:30
月～金曜日（土日祝、特定休業日を除く）

てっトリ早く データDVDをつくってみよう

1 Nero StartSmart Essentials ショートカットアイコンをダブルクリックします。
[Nero StartSmart Essentials] ショートカットアイコンを ダブルクリック

2 [リッピングと書き込み]→[データディスク書き込み]の順にクリックします。
①[リッピングと書き込み]を クリック ②[データディスク書き込み]を クリック

3 [データ]→[データDVD]の順にクリックします。
①[データ]を クリック ②[データDVD]を クリック

4 [追加]ボタンをクリックし、書き込むデータを選択します。
①[追加]を クリック ②データを選択し、[追加]をクリック（複数のファイルを追加する場合は、本手順を繰り返します。） ③データを選び終えたら（キャンセル）をクリック ④[次へ]を クリック

5 本製品に書き込み先メディアを挿入します。

6 [現在のドライブ]に本製品を選択し、[書き込み]ボタンをクリックします。
①本製品を 選択 ②[書き込み]を クリック

完成!

後で追記可能なディスクにする場合
「後でファイルを追加可能にする（マルチセッションディスク）のチェックをつけておくと、以後もファイルの追加が可能です。

困った時には…
添付DVD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
Nero
045-910-0255
受付時間：10:00～12:30/13:30～17:00
月～金曜日（土日祝、特定休業日を除く）

てっトリ早く DVD-RAMに書き込もう

1 DVD-RAMメディアを本製品に挿入します。

2 コンピュータ（またはマイコンピュータ）を開き、本製品のアイコンを右クリックし、[InCD形式...]をクリックします。
①アイコンを 右クリック ②[InCD形式...]を クリック

3 ①[クイック]を選択します。
②[ボリューム名]は任意で入力します。
③[開始]ボタンをクリックします。
①[クイック]を 選択 ②任意で 入力 クリック

4 [はい]をクリックします。
⇒フォーマットが始まります。
クリック

5 [OK]をクリックします。
これでDVD-RAMメディアへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。
クリック

※2～3の手順は初めてデータを書きこむ際にのみ必要です。
※DVD±RW/RAM、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書きこむことができます。
※InCD Essentialsはは DVD±RW、DVD-RAM、CD-RWでのみお使いいただけます。

てっトリ早く DVDビデオを再生しよう

1 [スタート]→[プログラム（すべてのプログラム）]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD for I-O DATA]の順にクリックします。
順にクリック

2 再生するDVDビデオを挿入します。
挿入すれば、自動的にDVDビデオの再生がスタートするよ。

こんな時には…
■Windows XPでなのようなウインドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

CPRM技術で録画されたDVDを初めて再生する場合は…
認証手続きが必要です。
詳しくは本製品の画面で見るマニュアル内[DVDビデオを観る]をご覧ください。
（添付のDVD-ROMのメニュー→[画面で見るマニュアル]を選び[]をクリックし、起動します。）

困った時には…
添付DVD-ROMのメニュー→[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
コーレル・テクニカルサポート
045-226-3899
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
（土・日・祝日と特別休業日を除く）

注意 DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA、WinDVDを使用する際のご注意

- ●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で[2]に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- ●以下の場合にインターネット接続環境が必要です。
  - ・DVD MovieWriterおよびWinDVDインストール時のソフトウェア有効化手続きの際
  - ・CPRM対応で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生※、またはDVD MovieWriterで編集する場合
- ●Windows Vista®およびWindows XP環境でCPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合※は、以下の環境を満たしている必要があります。
  - 《グラフィックアクセラレータボード》
    - ・PCI-Express規格
    - ・最新のドライバーがインストールされていること
    - ・HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載
  - 《ディスプレイ》
    - ・HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載
- ※操作手順については、本製品の画面で見るマニュアルをご覧ください。

注意 Nero Express Essentials ＋ InCD Essentialsを使用する際のご注意

- ●本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねますご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- ●省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- ●マルチセッション・マルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです。）記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、[Nero Express]を起動し、[拡張メニュー]の[ディスク情報]から使用済み容量をご確認ください。
  エクスプローラの[ファイル]メニューの[プロパティ]を選択すると表示されるが使用領域ではDOSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- ●2倍以内のミキメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読みふくことができます。
- ●一度でも書き込みに失敗したDVD±R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください正常に動作しない場合があります。
  また、書き込みに失敗したDVD±RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアは[Nero Express]またはInCDを使用していったんデータを消去した後にご利用ください。
  なお、書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
- ●一度InCDでフォーマットしたDVD±RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、[Nero Express]またはInCDでいったん消去してから、InCDで再フォーマットしてください。
- ●DVD±RW/-RW/-RAM、CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。
- ●InCDはDVD±RW/DVD-RAM/CD-RW専用のパケットライトソフトです。
- ●いったん[Nero Express]に本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず[Nero Express]に本製品を使用してください。
  また、いったん[InCD]に本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず[InCD]に本製品を使用してください。
- ●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスクとに必要です。
- ●[Nero Express]が対応していないDVD/CDドライブの場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。本製品を読み込みドライブとしてご利用ください。
  ※本製品添付DVD-ROMに収録されているソフトウェアは本製品にのみ対応しております。
- ●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
- ●Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
- ●InCDはCPRMに対応しておりません。

困ったときには

DVD MovieWriter® 5 SE for I-O DATA で困ったら…

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
[スタート]メニューの[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]から開きます。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.corel.jp/support/

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。
コーレル株式会社
ユーリード テクニカルサポート
TEL 045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日（土日祝日ならびにコーレル社指定休業日を除く）
※お問い合わせの際はユーザー登録が必要です。
※シリアル番号はパッケージ裏面の表示、各ソフトウェアを起動し[バージョン情報]等各ソフトウェアについてのオプションを参照してください。
http://www.corel.jp/support/
●E-Mail：上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。

nero 8 ESSENTIALS Writing Solution で困ったら…

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
[スタート]メニューの[Nero 8]→[Nero Manuals]から起動します。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.nero.com/jpn/support.html

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。
株式会社Nero
TEL 045-910-0255
受付時間：10:00～12:30/13:30～17:00
月～金曜日（土日祝、特定休業日は除く）
※お問い合わせの際はシリアル番号が必要です。
①デスクトップ上の[Nero StartSmart Essentials]アイコンをダブルクリックします。
②画面左下のアイコンをクリックし、[ツールボックス]→[Nero ControlCenter]の順に選択します。
③Nero ControlCenterウィンドウ左側のアイコンから[ライセンス]をクリックします。
http://www.nero.com/jpn/support.html
●E-Mail：上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。

InterVideo WinDVD で困ったら…

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
各ソフトウェアを起動し、ヘルプ起動します。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.corel.jp/support/

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。
コーレル株式会社
インタービデオ テクニカルサポート
TEL 045-226-3899
FAX 045-226-3895
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日（土日祝日ならびにコーレル社指定休業日を除く）
http://www.corel.jp/support/
●E-Mail：上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。

DVDドライブ本体やマッハUSB for BD/DVD、EasySaver LE で困ったら…

1 添付のDVD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルのQ&Aを確認する。

2 ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/
●技術サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター
TEL[東京] 03-3254-1095
TEL[札幌] 076-260-3688
FAX[東京] 03-3254-9055
FAX[札幌] 076-260-3360
[受付時間] 09:00～17:00 月～金曜日（祝日は除く）
※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアフター以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

修理を依頼する前に

以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ご と取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますのでご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている[保証規定]に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が経過した製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかどうかご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。）

修理依頼手順

1.メモに控え、お手元に置いてください。
お送り頂く製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています。）およびいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

2.これを用意してください。
■ご発送品を記入した本製品ハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下の内容を書いたもの
・症状先（住所/氏名/あれば FAX番号　・ご使用環境（機器構成、OS など）
・日中にご連絡できる電話番号　・故障状況（どうなったか）

3.修理品を梱包してください。
箱と共に同梱した物を修理品と一緒にご梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐために、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

4.修理をご依頼ください。
■修理は、下の送付先までお送りください。送料お願いします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担。修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便使小包でお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目B4番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

著作権について

この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を受けている素材を制作する予定としてのものです。もしあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家に相談ください。

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

商標について

■I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
■Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、
※国 Microsoft Corporationの登録商標です。
■その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
お客様サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目B4番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
Copyright © 2009 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved. 2009.05.01